

## 長崎伝習所 40 周年に向けた新たなチャレンジ

『長崎伝習所』は、幕末に多くの人材を輩出した「海軍伝習所」「医学伝習所」などに由来し、昭和 61 年に設立して以来、人材のネットワークづくりと地域の活性化につながる人材育成の場として、様々な取り組みを行ってきました。



長崎伝習所の柱である『塾事業』では、長崎を魅力ある元気なまちにするために市民と行政が力を合わせて活動を行い、設立 39 年目となった令和 6 年度までに、累計 309 の塾による様々な活動が行われ、卒業した塾生の総数は延べ 10,386 人となりました。これら塾の中には、卒業後もそれぞれで活動を続け、長崎のまちづくりに貢献していただいている塾もごございます。

さて、令和 6 年度は、長崎で 2 つの塾、東京で 1 つの塾が活動し、うち 2 つの塾が令和 5 年度に引き続き活動されました。今年度新規の塾として「『はじめて』の地域活動やってみよう塾」では、はじめて地域活動に挑戦する人に向けマニュアルを作成しました。継続塾としては、「ながさき山城・峯 探検魅力発信塾」が中近世の山城を調査・研究し、魅力を SNS や冊子により発信し、「渋谷・長崎歴史文化情報発信塾」では江戸時代後期から明治時代に長崎で商売や勉強をしたのちに名を挙げた偉人の東京での足跡に関する情報発信するなど、それぞれのテーマで調査、研究、そして実践活動に取り組んでいただきました。

また、令和 6 年度はより多くの若い世代の参画を目指し、まちづくりにチャレンジする若者を応援する「若者まちづくりチャレンジ補助金」の整備や、若者が地域や社会に目を向けて行動するきっかけとなるよう、先進的な取り組みでご活躍されている方々をお招きした講座「特別講座 Me-revo」などを実施しました。特に、特別講座 Me-revo は 3 回開催し、30 代以下の参加者割合が平均 40% を超えるなど、一定若い世代にリーチすることができたものと考えています。

令和 7 年度は、長崎伝習所が 40 周年を迎える節目となります。これまでの取組に加えて 40 周年記念事業や時代の変化に対応した見直し等に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、塾長をはじめ塾生の皆さまのご努力と、お忙しいなかご指導いただきました運営委員の皆さま、並びに、長崎伝習所の活動にご協力をいただきましたすべての皆さまに対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

長崎伝習所 総長 鈴木 史 朗